

部長会議開催結果 概要

●日時	令和3年4月1日(木) 午後2時32分から午後4時5分まで			
●場所	3A会議室			
●出席者	■は出席(代理出席は○)			
	■ 市長	■ 内田副市長	■ 高村副市長	■ 教育長
	■ 政策部長	■ 総務部長	■ 暮らし安心部長	■ 文化スポーツ部長
	■ 福祉部長	■ こども健康部長	■ 環境産業部長	■ はだの魅力づくり担当部長
	■ 都市部長	■ 建設部長	■ 上下水道局長	■ 教育部長
	■ 消防長			
	進行：副市長 事務局：総合政策課長、課長代理、担当 陪席：秘書課長			
●会議	1 市長あいさつ			
	2 報告事項			
	(1) 通年会期制について	総合政策課		
	(2) 「秦野市公共施設再配置計画・第2期基本計画案」及び「秦野市公共施設保全計画(仮称)案」について	行政経営課、公共建築課		
	(3) 繰越事業について	財政課		
	(4) 秦野市職員(ひと)づくり基本方針の整理及び秦野市職員(ひと)づくり基本方針第2期実施計画の策定について	人事課		
	(5) はだの丹沢クライミングパークにおける指定管理者制度の導入について	スポーツ推進課		
(6) 秦野市工業振興基本計画案について	産業振興課			
(7) 土地利用委員会調整部会の審議案件について	開発指導課			
3 その他				
(1) 新型コロナワクチン接種スケジュールについて	健康づくり課			
●会議概要				
1 市長あいさつ				
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな年度が始まり、新任の部長を加えて最初の部長会議。 ・先月26日に閉会した第一回定例会では、予算をはじめとする全ての提出議案が原案通り議決された。部局長はじめ職員の努力に感謝する。 ・ワクチン接種の準備を担当部局で精力的に進めているが、予定では、高齢者を対象として、4月16日にワクチン接種券を送付する。詳細はこの後担当から説明する。 ・所得の低い子育て世帯を対象に、国が給付金を追加支給するので、できるだけ早期にお届けできるよう、給付金支給に係る補正予算等を審議するための臨時会を4月16日に招集する。対応よろしく願いたい。引き続き、安全・安心な市民生活を全力で守るため、状況の変化に即応しながら、感染症対策と社会経済活動をしっかりと両立させていく。 ・人事異動は、昇格者154名、異動者222名、新規採用者31名、勤務延長1名、合計で377名の異動。新総合計画の着実な推進に向けた、組織力と職 				

員力を最大限生かした人員配置とした。性別・年齢にとらわれず、能力ある職員の積極的な管理職への登用を図った。

- ・組織が組織として機能するには、まずは各部局単位での現場の掌握が大切。そのうえで、各部局の問題点・課題を適時適切に上層部に報告していく組織でなければ回らない。まずは、各部局内の課長としっかりコミュニケーションをとり、時には現場を確認しながら、部局内はもちろんのこと、庁内での報連相を徹底してほしい。
- ・新年度、新総合計画とそれを支える76の個別計画(継続を含む)がスタートする。計画策定は終わりではなく、具体的な行動に踏み出す第一歩。PDCAサイクルを回しながら、着実に進めてほしい。
- ・再来週から行う重要施策ヒアリングは、今後の政策の方向性や優先順位を明確にするための大事なヒアリングで、夏のサマーレビュー、秋から始まる予算編成へとつながるもの。部内で徹底的に議論し、具体的な目標をもって、それぞれの方針をしっかりと見定め、一年間の取組みを明確にしてほしい。
- ・令和3年度の市政運営だが、本市発展に大きな期待が寄せられる新東名高速道路の開通や、延期となった東京五輪の開催など、秦野が飛躍するための大変重要な一年。絶好の機会を逃すことなく、特に、昨年策定した「表丹沢魅力づくり構想」を具体化し、「丹沢」「名水」「桜」「温泉」といった本市の強みを最大限に生かしながら、小田急4駅周辺のにぎわい創造につなげる取組みを着実に推進していきたい。また、12月からは、いよいよ「安全・安心で生徒が喜ぶ中学校給食」がスタートする。成長期の子どもにふさわしい献立づくりや、農業者や商業者と連携した地産地消による食育に取り組んでいきたい。
- ・改めて施政方針を読み直していただき、それぞれの部局が取り組むべき施策をしっかりと確認してもらいたい。仕事が複雑・多様化している中では、特に、組織の横の連携が大切。垣根を越えた横断体制のもとで職員力を結集し、市民一人ひとりの声を大切にしながら、市政運営に当たってほしい。
- ・今年度から新たに市内8地区に配置した「地域まちづくりコーディネーター(公民館長の兼務)」は、市民に身近な相談窓口でもあり、各地区まちづくり委員会とも連携しながら、市民との協働・連携を実践してほしい。

2 報告事項

(1) 通年会期制について

総合政策課

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

Q. 関係議案を6月定例会に上程するために必要な条件は何か。

A. 関係議案（議提議案）は、全議員の理解を得たうえで提出され、全会一致によるものと理解している。

意見. 通年会期制の導入には、市民理解を十分に得る必要がある。

(2) 「秦野市公共施設再配置計画・第2期基本計画案」及び「秦野市公共施設保全計画（仮称）案」について 行政経営課、公共建築課

【説明】 資料に基づいて説明

【意見・質疑】

Q. 児童館は築年が古く更新年度をゆうに超えているものが多い。子どもの安全確保のためには建替えが必要と考えるが、新総合計画前期計画ではその予定がない。現実とのギャップがあるのではないか。

A. 公共施設再配置計画では、児童館については、近隣の公民館等にその機能を移転する方針だが、地域コミュニティの拠点機能を維持する必要がある場合には、建替えを検討することとしている。

(3) 繰越事業について

財政課

【説明】 資料に基づいて説明

【意見・質疑】

なし

(4) 秦野市職員（ひと）づくり基本方針の整理及び秦野市職員（ひと）づくり基本方針第2期実施計画の策定について 人事課

【説明】 資料に基づいて説明

【意見・質疑】

Q. 行動計画に、男性の育児休業取得に向けて、制度の周知等に取り組むとの記載があるが、民間企業にも取得促進を促すうえで、市が率先して取り組む必要があり、もう一歩進めた表現にしてはどうか。

A. 代替職員の確保等、制度の周知以外にも取り組む。記載については調整したい。

(5) はだの丹沢クライミングパークにおける指定管理者制度の導入について スポーツ推進課

【説明】 資料に基づいて説明

【意見・質疑】

意見. 県の選定基準に、はだの丹沢クライミングパークに係る基準を2点追加するとのことだが、県にすべてを一任するような印象を与えないよう、追加するこの2点が不足しているので補うというような説明を。

(6) 秦野市工業振興基本計画案について

産業振興課

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

Q. 企業立地アンケートやヒアリング調査は、本市独自の調査か。その結果は共有されているものか。

A. 平成29年度に本市独自で実施したもので、結果については共有ファイルから閲覧いただくことができる。

意見. 計画の中にも、調査の出典や実施時期等が分かるように記載すること。

(7) 土地利用委員会調整部会の審議案件について

開発指導課

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

なし

3 その他

(1) 新型コロナワクチン接種スケジュールについて

健康づくり課

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

なし